

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

鳥取県

学校名

米子市立福米中学校

人権課題

子供

対象学年・  
取り扱った教科等

中学1年生・学活

目標・人権教育のねらい

- ・世界人権宣言について知り、自分や他者が持っている権利について理解を深め、自分の考えを伝えることができる。
- ・世界人権宣言について知ること、自分や他者の持っている権利について理解を深め、生活を振り返ることができる。

実施した内容

- ・自分にとって守られてほしい権利について考え、小グループで意見交換をさせることで、自他の権利について考えを深めさせる。
- ・「世界人権すごろく」を使って、日常生活の中で他者の権利を侵害している場面がないかを考えさせることで、自分の生活を振り返らせる。（1時間）

工夫した点

- ・身近な内容で構成された「世界人権すごろく」を使って学習を進めることで、自分たちの生活の中にある権利に気づかせる。
- ・侵害されている権利だけにとどまらず、守られている権利についても考えさせることで、考えを深めさせる。

他教科との  
関連

- ・世界人権宣言を中学校3年間の人権学習のベースとなる「普遍的視点」として位置づけ、その後の学習を進めている。

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	鳥取県	学校名	米子市立福米中学校
人権課題	障害者	対象学年・ 取り扱った教科等	中学 1 年生・道徳、学級活動、 総合的な学習の時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校間交流を通して、鳥取聾学校ひまわり分校について知り、自分の在り方を見つめる。</li> <li>・ 手話体験を通して、他者を大切にしようとする意欲を高める。</li> <li>・ 聴覚障がいのある人の思いを知り、問題に対して自分の課題として解決していこうとする態度を養う。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取聾学校ひまわり分校についての説明や生徒・職員の思いを聞き、学校間交流を図る。（1 時間）</li> <li>・ 文化祭の全校合唱で行う「F A C E」という曲の一部を手話を交えて練習、発表する。鳥取聾学校ひまわり分校の生徒の手話の動画を活用し、文化祭で合唱を行う。（数時間）</li> <li>・ 手話についての講演と体験活動を行う。（1 時間）</li> <li>・ 鳥取聾学校の生徒の演劇を通して、生徒の思いに触れ、手話言語条例の歴史について知る。（1 時間）</li> <li>・ 生徒の作文を通して、誰もが嫌な思いをせず共に生きる社会にするための実践意欲を育てる。（1 時間）</li> </ul>		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月に行った話し合い活動を土台とし、「嫌な思いをしたい人は誰もいない」という共通認識のもと学習を進めていくことで、自分自身のこととして捉え、生活を振り返らせるようにした。</li> <li>・ 振り返りの視点を与えることで、生徒が目標に沿った振り返りができるようにした。</li> </ul>		
他教科との 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>		

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	鳥取県	学校名	米子市立福米中学校
人権課題	同和問題	対象学年・ 取り扱った教科等	中学3年生・道徳
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部落差別における結婚問題から、誰もが大切にされ、安心して幸せに生きられる社会にするためにどんな行動ができるか考えることを通して差別解消に向けて意欲を高める。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演を聞き、一人ひとりが部落差別に関する当事者として差別解消に向かう意欲を高める。(2時間)</li> <li>・ 資料「親戚同士の会話」の中にある人権問題から、誰もが大切にされる社会するために自分に何が出来るか考える。(1時間)</li> </ul>		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イラストなどを用いて事例を可視化し、整理することで、生徒が課題意識を持ちやすくなるようにする。</li> <li>・ グループでの話し合いを取り入れ、多様な価値観にふれながら、差別は「差別をする人」だけが作っているわけではないことに気づかせ、社会にいる一人ひとりが部落差別を解消する当事者であることを自覚させる。</li> </ul>		
他教科との 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級活動で部落差別解消推進法制定の経緯や法律の趣旨についての学習を行った。</li> </ul>		

# 令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

鳥取県

学校名

米子市立福米中学校

人権課題

ハンセン病患者等

 対象学年・  
取り扱った教科等
 中学2年生・道徳・学級活動・  
総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病について正しく理解し、誰もが嫌な思いをしない社会にするためにどうしたらよいか考え、行動できる力を育てる。
- ・差別や偏見、不合理な出来事に出合った時に、それを正していく力を育てる。
- ・様々な人権問題に対して、自分の課題として解決していく意欲と態度を育てる。

実施した内容

- ・ハンセン病について知る。（1時間）
- ・ゲストティーチャーの講演を聞き、ハンセン病の現状を知る。（2時間）
- ・元患者の家族に対する差別について考える。（1時間）
- ・ハンセン病問題を通して、自分の生き方について考えを深める。（1時間）

工夫した点

- ①振返りの工夫
  - ・単元を通して自分の考えの深まりを実感できるように、毎時間の振返りを1枚の用紙にまとめた。
  - ・疑問に思ったことを記入させ、教師が答えたり、授業で全体で考えさせたりした。
- ②「普遍的な視点」と「個別的な視点」の往還
  - ・世界人権宣言の視点から、ハンセン病に関わる課題について考え、誰もが嫌な思いをしない社会を実現させるために自分ができることを考えさせた。

他教科との  
関連

- ・学級活動の時間に新型コロナウイルス感染症についての学習を行い、不安な気持ちが差別につながるという差別の構造について学習した。

## 令和3年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

都道府県・  
指定都市名

鳥取県

学校名

米子市立福米中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

中学3年生・学活

目標・人権教育のねらい

- ・インターネット上にある人権問題に出合った時に、どうすべきか考えることができる。
- ・インターネット上にある人権問題に対して自分に何ができるかを考えることを通して、実践や行動に向けた意欲を高める。

実施した内容

- ・インターネット上で部落差別に出合ったとき、差別をなくすために何を考え、どう関わっていくことができるのか考える。（1時間）

工夫した点

- ・なぜインターネット上に部落差別が出てくるのかを日常生活との違いに注目させ、書き込みに対してどんな対処ができるのか、その対処はどんなことにつながるのか考えさせる。班で共有することを通して、その考えを深めさせる。

他教科との  
関連

- ・学級活動で、情報モラルについて1年生の時から継続的に学習している。